

ろうそく

一八九九

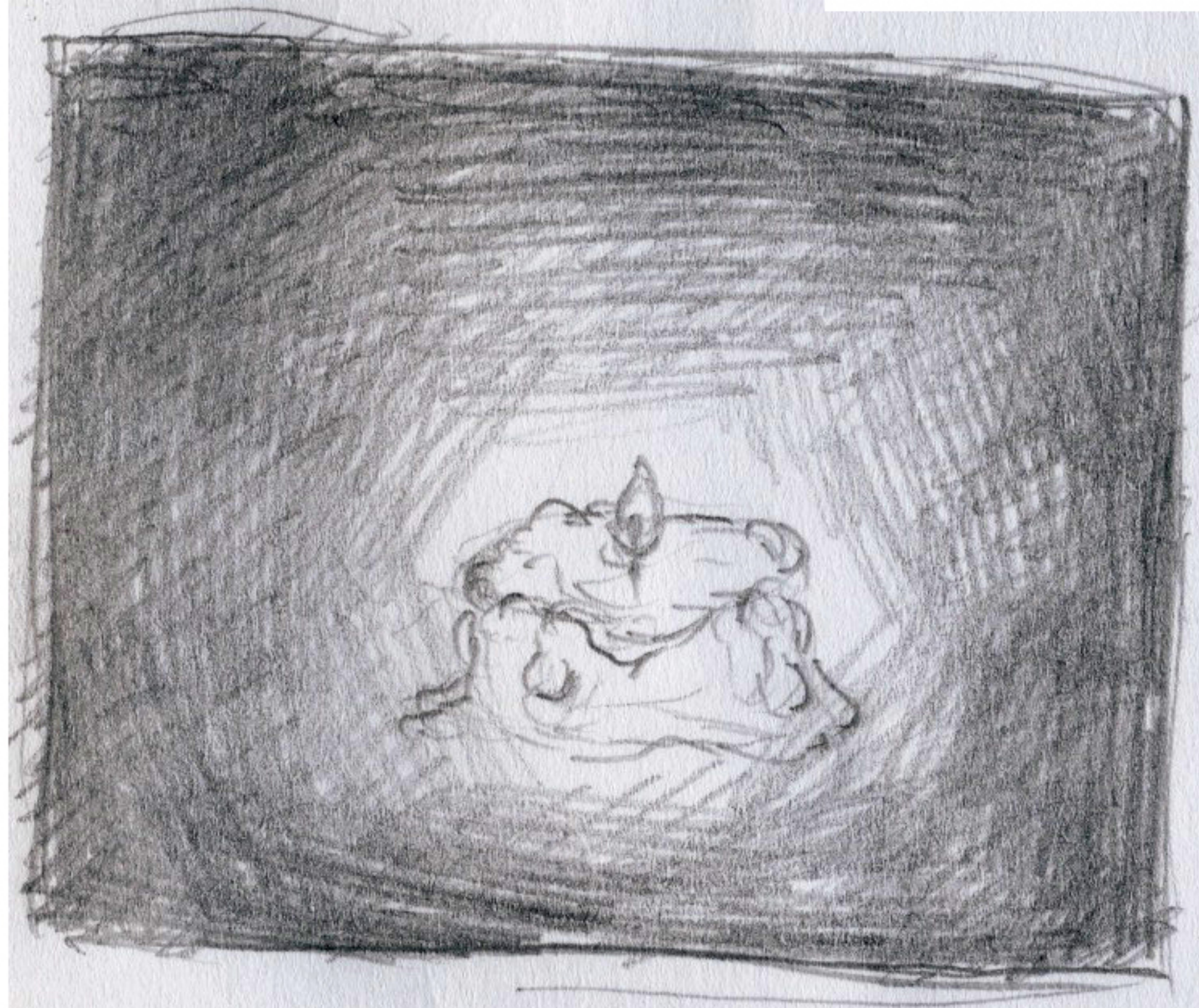
これから来る日は われらの前に
燃えさかるろうそく。生き生きと暖かく
金色に輝くろうそくの列。

過ぎた日 過去に置き去った日は
燃え尽きたろうそくの陰々滅々の列。
いちばん手前のは まだくすぶっているが
曲がって 溶けて もう冷たい。

見たくない、過ぎた日のろうそく。恰好も悲しい。

もとの光を思えばいつそう悲しい。
私は前を見る、私の燃えて輝くろうそくを。

ふりむきたくない。見たくない。怖い。
黒い列がなんと速く伸び、
なんと早く また一本 死んだろうそくが仲間に加わることか。





Candles



Reverse size



溶け 短くなる = 短く



短く
→ 短くなる大まかに 手短かに



(短く短くなる...)

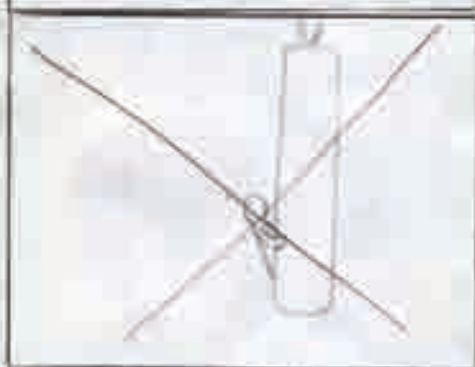
少く 短く 表情



↓
 自覚的、回響的。
 ↓
 赤い壁。
 35年経たず、25年。



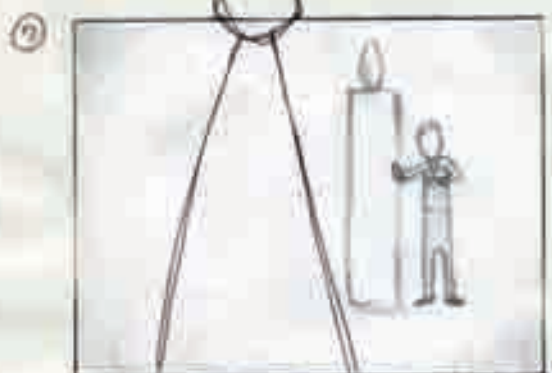
少年成長、少年出立。



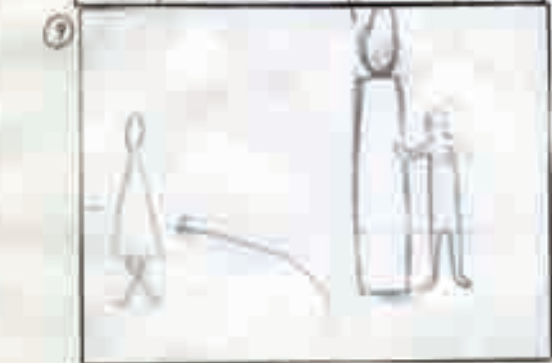
(サウナ) ボールは待てない。



↑ ↓
 ↓
 ボールは画面一杯に
 ↑
 手前にはない。



⑧ 中盤場
手前の圓は所が、2歩引く。



⑨ 中盤左手は影の2歩
影は口の影と一致。



⑩ 話場した。
2人の333Cの並ぶ。
男は比尺、女の333Cは短し。



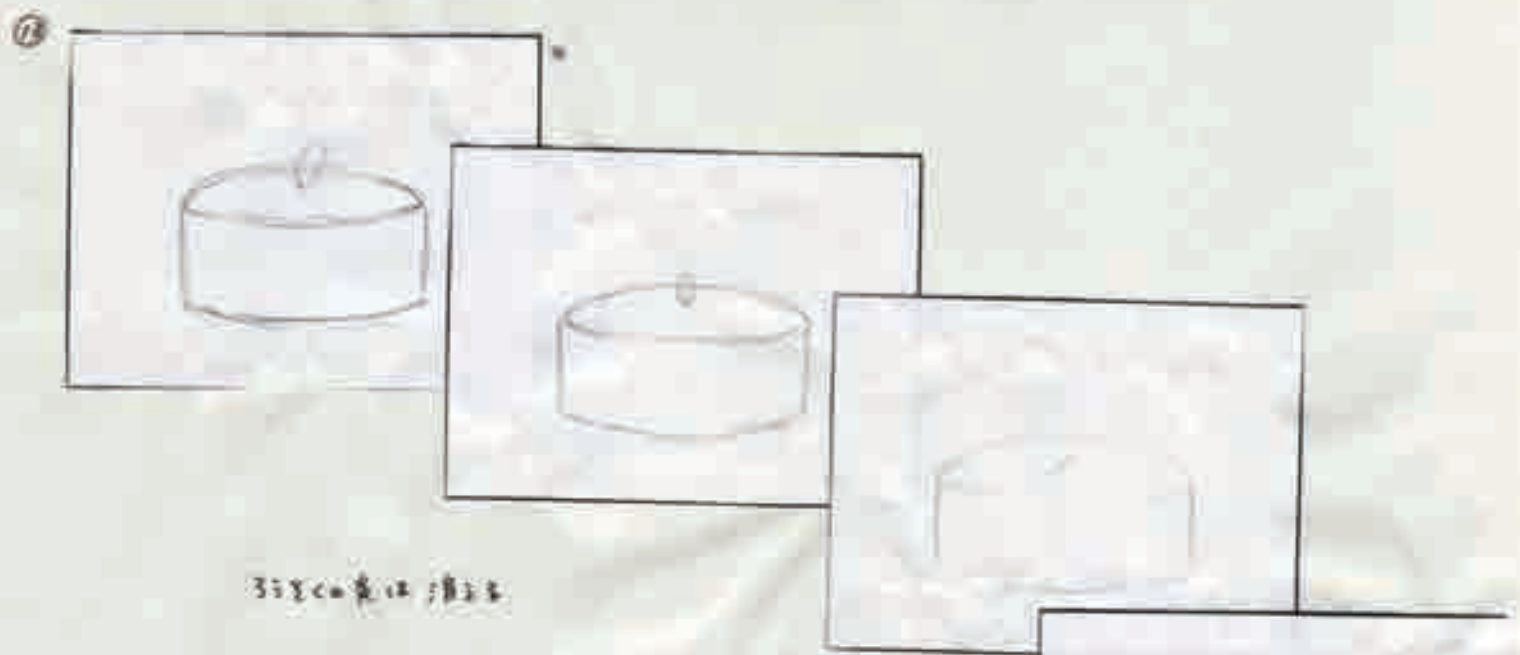
⑪ 333Cの2人指すところ
手前の333Cの位置



暗転



⑫ 短尺、1:333C
消す影の位置。
及手の上。



333cm 黄は 消す



目を閉じる



中、立ち止る。一度 家の中を見つめ
左手に赤い光の 消す。此。
二人の子供、一人は顔を見つめ、一人は遠くを見つめ。



中
子供は赤い光の、黄色の光。
長男は 大きな光の光を握る
世界の山を登りに 家を出る。

空間が少く暗い。
333cm 減す。

13



次男は結婚し、家を出る

嫁と別れに 涙の雨の別れを繰り返す

14



和少は暗い夜を空へ

15



夜を待てば 涙の雨

16



自らの 涙の雨 涙の雨

21



「ああ
人生はいいな。」

その笑顔と輝く瞳。

22



灯の光が照らす

心と一息の静けさ。

23



人生の苦しみの中に。